

医療機関名称	主たる診療科 (2つまで掲載)	認知症専門 外来の有無 (外来名)	認知症 診断の 可否	※1 中核症状 (認知機能 障害)の 治療	※2 行動・心理 症状(BP SD) の治療	※3 往診・ 訪問 診療 の可否	※4 成年後見 制度の 診断書の 作成可否	※5 認知症 高齢者の 運転免許 更新に 関する 診断書の 記載	所在地	電話番号	問合せ窓口 ・その他
44 つばさクリニック	精神科・心療内科	○(精神科・ 心療内科)	○	○	○	○	○	○	町田市忠生3-25-11 忠生ビル1-A号室	042-794-6811	詳しくは お電話 にてお問 い合わせ ください ※完全予約制
45 医療法人社団天恵会 敬愛クリニック	精神科・高齢者 心療内科	○(精神科・ 高齢者 心療内科)	○	○	○	○	○	×	町田市忠生4-5-10 ウエルストーンアネックス	042-794-9106	
46 鶴が丘ガーデン ホスピタル	精神科・心療内科	○(精神科)	○	○	△(訪問 看護可)	○	○	要相談 (診療で 判断)	町田市三輪緑山2-2133-1	044-988-3121	相談室
47 多摩平の森の病院	老年精神科・ 老年内科	○(老年 精神科・ 老年内科)	○	○	△	×	○	○	日野市多摩平3-1-17	042-843-1888	認知症 相談と お伝え ください
48 康明会病院	内科・脳神経内科	○(もの 忘れ外来)	○	○	○	○	○	○	日野市豊田2-32-1	042-584-5269	地域医療 推進部
49 稲城市立病院	脳神経内科	○(もの 忘れ外来)	○	○	△	×	×	×	稲城市大丸1171	042-377-0931	内科外来
50 稲城台病院	精神科・内科	○(もの 忘れ外来)	○	○	○	△	○	○	稲城市若葉台3-7-1	042-331-5531	地域 連携部
(注釈)				△難しい 時は専門 機関へ 紹介	△難しい 時は専門 機関へ 紹介	△難しい 時は専門 機関へ 紹介	○初診 患者も 可能 △自院 通院者 に限る	△難しい 時は専門 機関へ 紹介			

※1 中核症状(認知機能障害): 脳の細胞が壊れて直接起こる症状を「中核症状」と呼び、認知機能の低下として現われる。抗認知症薬などの治療や適切なケアで進行をゆるやかにすることが可能といわれている。⇒2 認知症とは? ・4 認知症に早く気づくことが大事! 参照

※2 行動・心理症状(BPSD): 性格、環境、人間関係などの要因により精神症状や行動に支障が起き、不安・うつ・怒りっぽさなどとして現われる。原因や状況に応じて、薬物療法や心理療法、環境の調整、周囲の人の理解など対応方法の工夫で治る可能性がある。⇒2 認知症とは? ・7 認知症の人を支えるために参照

※3 往診: 医師が患者さんの求めに応じて出向く診療(予定されていない)。訪問診療: あらかじめ医師が診療の計画を立て、患者さんの同意を得て定期的に居宅に出向いて診療するもの。「往診」は不定期、「訪問診療」は定期的。

※4 成年後見制度: 将来の判断能力の低下に備えたり認知症などで判断能力が不十分な場合に、本人の権利を守る援助者を選び、法的に支援する制度。家庭裁判所に任意後見監督人選任や成年後見人等の審判を申立てる時に医師の診断書が必要。⇒13 こんな時はどこに相談したらいいの? 参照

2 認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センターとは、東京都が各地域で認知症の人とその家族を支援する体制を構築するため、医療機関相互や医療・介護連携の推進役として指定する医療機関です。

【東京都指定 南多摩医療圏地域拠点型認知症疾患医療センター】

医療法人社団光生会 平川病院 八王子市美山町1076

☎042-651-3132 (センター直通) ☎042-651-3131 (平川病院代表)

南多摩医療圏(八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市)の認知症医療・介護連携の推進役です。関係機関を集めた会議の開催、地域連携型認知症疾患医療センター・医療機関との連携による身体合併症、行動・心理症状に対応するネットワークづくりの推進、人材育成、認知症アウトリーチチームの配置等を行います。

【東京都指定 地域連携型認知症疾患医療センター】

社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院 多摩市連光寺1-1-1

☎042-313-7350 (センター直通)

多摩市における認知症医療・介護連携の推進役です。認知症の専門知識を有する相談員による医療相談や、認知症の鑑別診断を行い、必要な支援に結びつけます。多摩市とともに、地域の医療・介護関係機関とのネットワークづくりを推進し、認知症施策への協力等を行います。



わたしのこと

豊かな人生の道しるべとして
ご活用ください!

自分の考えを周りの人に正しく理解してもらい、自分らしい生活を続けていくために。「何を楽しみに生活していたか」「これからどんなことをしたいか、どこで暮らしていきたいか」など、自分の想いを書き留めておきましょう。

今までのわたし

今のわたし

これからのわたし

生まれ育った場所	仕事(役割)
心に残る出来事	趣味
好きな曲・本・映画・食べ物など	一番頼りにしている人(家族・友人など)
嫌いなもの	毎日やっていること
楽しい、嬉しいと感じること	私の受けたい介護・医療など
これからやりたいこと	周りの人に伝えたいこと
今後どんなところで過ごしたいか	